



県政を身近に!

プロフィール 1960年富士見市生まれ。鶴瀬小/富士見台中/県立川越高校/明治大学政経学部経済学科卒。
家族：妻と小学校一年生の息子。1983年みずほ銀行(旧・第一勧銀)入行。伊藤忠商事への出向も経験。
2005年富士見市議会議員当選(3期連続トップ当選)。2016年埼玉県議会議員当選。
富士見市スポーツ協会常任理事・富士見市サッカー協会会長・西みずほ保育園理事
総務県民生活常任委員会副委員長・埼玉県スポーツ推進審議会委員

あなたの声を気軽にお聞かせください。

TEL.FAX.049-255-2527 ✉masaru.ih@tbc.t-com.ne.jp ホームページは【かねこ勝】で検索!
facebook / Twitter 更新しています



**少子化
対策!**

「不妊治療費の助成」

ウェルカムベビープロジェクト



- **対象** 夫婦所得が730万円以下の県内在住者
 - **助成金** 男女共に不妊治療に上限30万円までの費用を助成
 - **対象の治療**
 - 女性：体外受精治療 ●男性：精巣内精子生検採取法(TESE)
 - ・顕微授精治療 ・精巣上体内精子吸引採取法(MESA)
- その他、精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術(指定医療機関において実施した保険適用外診療に限る。)

更に、不妊治療費助成を受けた後に出産し、新たに不妊治療費助成を受ける場合、出生後1回目の治療に対する申請を1回目として更に6回(新たに開始した治療開始日の妻の年齢が40歳以上の場合3回)まで助成します。

早期不妊治療費助成...

妻が35歳未満で初回の特定不妊治療を行う場合に、10万円の上乗せ助成をします。

このとり健診推進事業...

妻が43歳未満で、夫婦そろって不妊検査を受けた県内在住者に、お住いの市町村から2万円を助成します。

**不育症を
ご存知ですか?**

不育症とは、妊娠はするけれど2回以上の流産・死産もしくは生後1週間以内に死亡する早期新生児死亡によって児が得られないことを言います。

通常でも流産は、妊娠の10~20%の頻度で起こります。この頻度は加齢とともに増加します。不育症は決してめずらしいものではありません。適切な検査と治療が行われれば、高い確率で赤ちゃんを授かることができます。ぜひ、お心当たりの方は、右記の相談窓口へ!

a.埼玉県不妊専門相談センター

面接相談(無料) 埼玉医科大学総合医療センター内

☎049-228-3674

b.妊娠・不妊・不育症に関する電話相談

助産師による、妊娠・不妊・不育症に関する電話相談を行っています。

☎048-799-3613



私立高校授業料の実質無償化!

1.授業料

国の就学支援金に県単独の授業料補助を上乗せする形で、平成29年度から**年収約609万円未満世帯に対する授業料の実質無償化を実施**しています。

さらに、平成30年度は、一定期間に学費負担が集中する多子世帯について、年収約720万円未満世帯まで授業料補助を拡大しています。

2.施設費等納付金及び入学金

施設費等納付金については、平成28年度から**年収約500万円未満世帯に対して県内平均額20万円を補助し、実質無償化を推進**しています。

入学金については、平成22年度から年収約609万円未満世帯に対して10万円の補助を推進しています。

3.奨学のための給付金(学校納付金以外)

平成26年度から**年収約250万円未満世帯に対して、教科書代や学用品費などの学習費の負担を軽減**するため、給付金を支給しています。

平成30年度は、第1子の支給単価を84,000円から89,000円に増額(第2子以降は138,000円)!

ご存知ですか?「子ども未来応援センター」

富士見市では、市民の皆さんの子育てを応援するため、妊娠期から子育て期に至るまでの包括的な支援体制を実現し、すべての子どもが夢に向かってチャレンジできるよう、「子ども未来応援センター」を29年10月にオープンしました。

子ども未来応援センターの業務

子ども未来相談窓口の設置

すべての子どもを対象に様々な相談に応じ、必要な支援につなげます。本人だけでなく、ご家族からの相談も受け付けます。

出産おめでとうレターの送付

出産後、市内に住所がある各家庭に市長のメッセージ入りの「出産おめでとうレター」を送付します。

妊娠届の受付・母子健康手帳の交付

妊娠届の受付が当センターに一本化されました。妊娠届の受付と母子健康手帳の交付時は、保健師が面接を行います。

夢つなぐ富士見プロジェクト+の推進
夢つなぐ富士見プロジェクト+ (富士見市子どもの貧困対策整備計画)を見現化するための会議を開催。地域団体、企業、教育機関、関係機関などとの連携を図るためのネットワーク構築を目指し、子ども未来コーディネーターとともに情報収集、情報共有を進めます。

モバイルサイトによる子育て応援情報発信

市の子育て支援情報の掲載や予防接種のスケジュール、月齢・年齢に合わせた情報の発信などを行います。

不妊検査・不妊治療の助成

不妊検査・治療に関する市の助成事業の窓口があります。対象や申請方法など、詳しくはお問い合わせください。



子ども3人、多子世帯を応援!

埼玉県のマスコット
コバトン

埼玉住まいる子育て応援プロジェクト

子ども3人以上(母子手帳も1人にカウントされます!)の世帯か、3人目を目指す夫婦ともに40才未満の世帯に対して、多子世帯向け住宅の新築購入に50万円、中古住宅購入やリフォームに50万円を助成します。

※新築購入については今年度の申請受付は終了しました。

多子世帯応援クーポン・ショップ

3人目が生まれた世帯に、3年間で5万円分のクーポン「3キュー子育てチケット」を市町村を通して配布しています。ベビーシッターや一時預かり、家事ヘルパーに使用できます。

※併せて、埼玉県では、地域のお店と提携して、様々なサービスを提供しています。

最大
50万円
補助

パパ・ママ応援ショップ

カード提示で割引などのサービスを提供。
★富士見市には、飲食店や小売店など317店

赤ちゃんの駅

自由におむつ替えや授乳ができるスペースを提供しています。
★富士見市には、公共施設やスーパー、営業所など21ヶ所



働くママを応援!

女性キャリアセンターによる支援

シングルマザー

就職支援
シングルマザーの就職を応援するため、相談から応募準備、職業紹介まで支援します。

子育て世代

向けの雇用創出モデル
空き店舗を活用した職住近接の子育て世代向けの雇用創出モデルを展開します。

女性の起業支援

イベントの開催や、県内女性起業会ロールモデルのPRパンフを作成し、女性の起業をバックアップします。